

裁判員制度開始直前ドラマ上映&パネルディスカッション

入 場 無 料

あなたが 変える 刑事裁判

～裁判員ができること～

今、私たちは
何を知って
おけば
いいのだろう
？

平成21年5月から、裁判員制度が始まります。
“裁判員に選ばれたらどうしよう…” “自分にできるのだろうか…”
“裁判官と議論するなんて…”と、不安を感じていませんか。
裁判員に選ばれたとき、あなたには何ができるのでしょうか。

第1部 日弁連制作ドラマ

「裁判員になりました」

～ニュースの向こう側～ 主演/木佐彩子



ドラマ
上映

テレビ局の女子アナ、矢部ひろみ。30歳を過ぎ、自分のポジションに危機感を抱いていた。
そんな矢部に裁判所から封書が届く。それは、裁判員候補者に選ばれたという通知だった…。

第2部 裁判員制度

パネルディスカッション

ゲスト

「家裁の人」原作/
「裁判員になりました」
原作・脚本

もうりじん ばち
毛利甚八さん



作家。1958年長崎県生まれ。漫画「家裁の人」の原作を手がけた後、インタビュー集「裁判官のかたち」(現代人文社)で、現役裁判官を取材。現在、少年院で篤志面接委員として活動中。近著に「少年院のかたち」(現代人文社)。日弁連発行の裁判員制度啓発用の漫画「裁判員になりました(三部作)」の原作を担当した他、2009年1月より「週刊漫画サンデー」で「裁判員の女神」を連載予定。

とき `09/1月31日(土) 開場/12:30 開演/13:00～

ところ **かでの2・7 かでのホール**

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル TEL.011-204-5100



主催/札幌弁護士会・司法を考える市民の会 共催/北海道弁護士会連合会・日本弁護士連合会 後援/札幌市・札幌市教育委員会